



## 教師も学び続ける ～本年度の校内研修の取組②～

5月27日（水）は校内研修の時間を設定し、研究主任のリードの下、学びの時間を持ちました。繰り返しになりますが、本年度の本校の研究テーマは「問いを引き出し、主体的に学びに向かう花っ子の姿を目指した授業改善」です。まず、「主体的に学ぶ」とは、子供のどういう姿を指すのか、意見を交流しました。事前に子供たちに、「どんなときに主体的に学べるのか」について意見を聞いたところ、「好きなことを学習できるとき」「できそうだけどできないことを学習するとき」「自分の予想と違ったとき」など、本質をついた意見が出たそうです。今後、学習者である子供たちの視点を踏まえながら授業改善に取り組んでいきます。「算数」「国語」「特別支援教育」「その他の教科」の4つの部会に分かれ、学習課題の工夫や、発問の工夫について研究を進めていきます。（写真：班に分かれて協議中）



# 前途洋々



## 教科書展示会へ行ってみませんか！ ～ 宇土市立図書館 郷土資料室にて開催されます ～

毎年この時期に、宇城管内のみならず、県内様々な場所で「教科書展示会」が実施されます。その趣旨は、「『教科書の発行に関する臨時措置法』第5条の規定に基づき、令和9年度（2027年度）使用教科書の見本本（みほんぼん）を展示し、教科書の適正な採択に資する。」というものです。これは、学校関係者だけではなく、広く一般の方々にも見ていただくことができる機会です。ちなみに宇城管内では4カ所で展示されています。教科書は改訂されるごとに、その時期の学習指導要領の内容を反映し、時代とともに内容・構成が変化していきます。「最近の教科書はこんなふうになっているんだな」ということを、実物を手にとって確かめることができる良い機会です。様々な教科書会社のものがあります。一番近いところでは、宇土市立図書館の郷土資料室に展示されます。期間は6月18日（木）から7月1日（水）までとなっています。（木曜は閲覧不可。9：30～18：00まで。1日は16：00までです）。ぜひ行かれてみてください。



## 水泳学習の時期を控えて ～心肺蘇生法研修～

今年も、プールでの学習の時期が近づいてきました。プール学習開始の前に、5月28日（木）の放課後、本校職員を講師として心肺蘇生の研修を実施しました。救急車が現場に到達するまで約10分かかるとのことですが、1分経過するごとに救命率が10%落ちてしまうそうです。現場に居合わせた人間が協力して、救急車が到着するまでの時間、AEDの使用や胸骨圧迫（「強く、早く、絶え間なく」が合い言葉）により、要救助者の命をつながなければなりません。最後に、2班に分かれて、救急車到着までのシミュレーションをしましたが、まさかの事態を想定し、常に危機感をもっておこなうべきだと感じました。いざというときは、ためらわずに救助活動に当たらなければいけません。プールに限らず、これから水難事故が多発する季節となります。尊い命が奪われることがないように、ご自宅周辺の危険箇所について、再度ご家庭でお話をさせていただけるとありがたいです。（写真：交代しながら胸骨圧迫）

